

社会福祉法人

草津市社会福祉協議会

70周年記念誌

～地域と共に歩んだ70年～



令和7年9月



社会福祉法人

草津市社会福祉協議会

目次

contents

○ 草津市社会福祉協議会設立 70 周年を迎えて	1
○ 草津市社会福祉協議会のあゆみ	2
○ 草津の未来をみて“ミライ”??	6
○ 草津市社会福祉協議会 歴代会長	8



草津市社会福祉協議会 設立 70 周年を迎えて



社会福祉法人
草津市社会福祉協議会
会長 清水 和廣

草津市社会福祉協議会は、本年4月に設立70周年を迎えることができました。

これもひとえに、長年にわたり本会を支えていただきました市民の皆様をはじめ、学区社協、民生委員・児童委員、行政、関係団体、企業等、各方面の多くの皆様のお力によるものであり、心から感謝申し上げます。

昭和29年に1町5村が合併し、草津市が誕生した翌年の昭和30年に本会は設立され、ふれあい、支えあい、わかちあいの心を大切に、困っておられる方々への支援をしたいという思いをもった市民有志と草津市の指導、援助により設立され、昭和33年には、市民の困りごとの身近な相談所として「心配ごと相談所」を開設し、常設の相談所として民生委員・児童委員のご協力の元に運営することとなりました。

地域とともに歩む市社協として、各小学校区に学区社協の結成を進めてきましたが、昭和34年に、志津、山田、老上、笠縫、常盤の5学区で結成。翌年には草津学区に結成され、学区社協とともに歩む、現在の市社協の基礎が確立されました。

その後は、地域福祉の推進のため、さまざまな事業を展開するとともに、時代の変遷に合わせた事業の見直しを進めてまいりました。

今日、介護保険制度改正や生活困窮者自立支援法の施行などにより、地域福祉活動の推進が強く求められております。多様化する地域の生活課題の解決、改善を図るために、地域のさまざまな力をコーディネートし、地域の福祉力を高め、福祉活動を展開していくという社協の社会的使命を果たしてまいりたいと考えております。

また、身近な地域での住民による助けあいを進める地域サロン活動の推進、住みなれた地域の中で、安心して生活ができるように市民の皆様の権利を守る地域福祉権利擁護事業、地域特性を生かした広範なボランティア活動の支援、更には学区社協を中心とする地域の福祉活動の支援強化やさまざまな生活課題の克服に対して、なお一層、皆様とともに活動を進めていく所存でございます。

これまでの歩みへの皆様のご支援に感謝を申し上げますとともに、これからの取組へも皆様のご協力を賜りますようお願いいたします。

令和7年9月

草津市社会福祉協議会のあゆみ

年表

- 1954** 草津市市制施行
草津町、志津村、老上村、山田村、笠縫村、常盤村合併（人口 32,152 人）
- 1955** 草津市社会福祉協議会発足
任意団体として草津二丁目の地で始動
草津市民生委員児童委員協議会の事務局を担う
共同募金運動の協力を始める
- 1958** 心配ごと相談所を開設
身近な暮らしの相談ごとに寄り添う
- 1959** 学区社会福祉協議会（学区社協）が5学区で結成
志津、山田、老上、笠縫、常盤で学区社協始動
県社協の生活福祉資金貸付事業の窓口業務を開始
- 1960** 第1回社会福祉大会を開催
- 1961** 草津学区で学区社協が結成
- 1966** 草津市社会福祉協議会の事務局を移転
民間福祉団体の活動拠点として社会福祉会館（旧草津第2公民館）を設置・移転へ
- 1968** 草津市社会福祉協議会を社会福祉法人化
事務局体制を強化
- 1973** 広報紙「社協くさつ」創刊
ふくしを身近に、ふくしの風土をつくる
- 1974** 草津第二学区で学区社協が結成
- 1975** 善意銀行を設置
人と人をつなぐ仕組みづくり
生活つなぎ資金貸付事業を開始
地域で暮らし続けるために、一時的な困窮を支援
- 1978** 草津市社会福祉協議会の事務局を移転
市社会福祉センターが商工会議所コミュニティホールに開設
市福祉事務所とともに移転
矢倉学区で学区社協が結成
高額療養費貸付制度を開始（～2004）
- 1982** 日本赤十字社滋賀県支部草津市地区の事務局を担う
- 1983** 笠縫東学区で学区社協が結成
葬祭具貸与事業を開始（～1995）
- 1985** ボラントピア事業実施
（60・61年：国庫補助ボランティア育成事業）



1986

福祉活動推進校指定事業を開始

1987

ボランティア基金を創設

ボランティアの風土づくりとボランティアの育成を目指して

1988

玉川学区で学区社協が結成

1989

ボランティア活動推進地区指定事業開始

学区社協がボランティアの育成を始める

コミュニティケアバンクを設置（～1994）

1990

高齢者ふれあいサロン事業スタート

学区単位で開催。身近な地域の高齢者の居場所づくり

中高生ボランティアスクールの開催（～2002）

1991

ふれあいのまちづくり事業（～1995）

1992

草津市社会福祉協議会の事務局を移転

市役所新庁舎の完成により、旧市役所庁舎へ

1993

地域福祉コーディネーターの設置

1995

阪神淡路大震災災害ボランティアセンター支援

1996

福祉車両の貸出を開始

高齢者や障害者への福祉車両の貸出を実施。一人暮らし等の方

に対して市社協の運転ボランティアを派遣し、移動の支援を行う

リハビリ教室利用者送迎事業開始（～1998）

シンナーや覚醒剤などの薬物乱用防止啓発活動（～2001）

1997

ボランティアセンターを設置

ボランティアを始めたい・ボランティアに来てほしいをつなぐ、

コーディネートスタート

ほのほのサークル支援事業開始

町内会単位で開催する身近な地域の高齢者の居場所づくり。現在につながる

「地域サロン」のはじまり

とまりぎデイサービス事業実施（～1999）

1998

志津南学区で学区社協が結成

在宅重度障害者通所生活訓練援助事業を開始（～2011）

福祉機器リサイクル事業開始

福祉機器（車椅子等）を一時的に必要な方へ貸し出す取組

1999

心配ごと相談所を常設

相談所を平日・毎日開設し、より身近に相談できる場所へ

2000

学区社協が南笠東学区で結成

地域福祉権利擁護事業を開始

判断能力が十分でない方の福祉サービスの利用に関する手続きや利用料の

支払いなどを支援し、地域で暮らし続けられるようサポート

介護保険高額サービス費貸付事業開始（～2015）

家族介護者交流事業開始（～2009）

視覚障害者生活訓練事業開始（～2004）

2001

ボランティア国際年記念行事を実施



2002

草津第二学区社協が大路区社協へ改名
高齢者介護サロン事業を開始（～ 2011）

高齢者地域サロン事業補助を開始

「ほのぼのサークル」を市内に広めるため、「地域サロン」に名前をかえ、
草津市の補助事業として実施

市社協ホームページを開設

サマーホリデーサービス事業（～ 2004）



2003

渋川学区で学区社協が結成

2004

全国ボランティアフェスティバル滋賀大会を開催

2005

地域サロン活動支援員の配置



2006

学区社協地域福祉懇談会を開始

学区社協をはじめとする地域の活動者と、市社協と顔を突き合わせて、
学区について語り合う



2008

第1次草津市地域福祉活動計画を策定

地域サロン交流会を開始

2009

近所力アップ講座を開始

2010

福祉委員手引書の作成

各学区で活躍する福祉委員の活動の一助となるべく、活動のポイント等
をまとめる

災害ボランティアセンター運営訓練を実施

有事の際にボランティア活動が円滑に進むよう日常的に訓練や研修を行う

全学区で住民福祉活動計画策定を完了

地域の状況を把握した上で、『これから』を形にする



2011

草津学区社協活動拠点「立ち寄りカフェ ゆかい家」、
志津南学区社協活動拠点「ふれあいカフェ『絆』」が開所

（しが地域支えあい体制づくり事業を活用）

電話訪問事業を開始

65歳以上の独居高齢者を市社協内の電話で訪問



2012

第2次草津市地域福祉活動計画を策定

草津市社会福祉協議会の事務局を青地町に移転

草津市社会福祉協議会イメージキャラクター

「ふくちゃん」誕生

「医療福祉を考える会議」を老上学区・笠縫東学区で開始

（生活支援体制整備事業第2層協議体モデル事業）

第1回ボランティアフェスティバルを開催

市社協の周知啓発と地域の活動者と市民の交流の場として開催



2014

**草津市より中間支援組織に指定される
地域支えあい運送支援事業を山田学区、志津南学区で開始**
外出が困難な方をボランティアの協力を得て送迎することで、お互いさま・支えあいの地域づくり



2015

草津市災害ボランティアセンターの運営等に関する協定締結
迅速な被災地支援を行うため草津市と締結



2016

**老上西学区で学区社協が結成
介護予防サポーターポイント制度（～2022）**

2017

**第3次草津市地域福祉活動計画を策定
市から生活支援体制整備推進事業を受託**

各学区に生活支援コーディネーターを設置

フードバンクセンターを設置

ご寄付いただいた食品を必要とされる方・団体へお渡し



2018

**地域支えあい運送支援事業を老上学区・老上西学区で開始
第1回草津市福祉教養大学を開催**

福祉に関心のない方に、福祉に関心をもってもらい、活動をはじめめるきっかけとなる草津市初福祉の大学



2019

災害時の被災者支援に関する相互協力協定を締結

災害時により効果的な被災地支援活動を行うために、草津市・草津青年会議所・草津市社会福祉協議会の三者間で締結

まごころ便実施

コロナ禍でも負けない・止めない。地域福祉活動を支える取組



2020

**地域支えあい運送支援事業を南笠東学区で開始
県社協の新型コロナウイルス特例貸付の窓口受付を開始**

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発出を受けて

2021

草津市社会福祉協議会の事務局を移転

市民交流などを目的とした複合施設「キラリエ草津」のオープンに伴う移転

ラストボランティアフェスティバルを開催

ご協力いただいた方への感謝とつながりづくりを目的として

つながりサポート事業（チューリップ事業）を開始

孤立・貧困・孤独で不安を抱える女性のくらしを応援する取組



2022

第4次草津市地域福祉活動計画を策定

ボランティアマルシェを開催

学生のボランティアに協力いただき、様々な世代に身近な福祉に触れてもらう機会として実施

チューリップ事業協定締結

生理用品の提供を通じて不安を抱える女性を支援するために、生活協同組合コープしがと締結



2023

県社協の新型コロナウイルス特例貸付の償還業務を開始



2024

子どもの居場所サポート事業を開始

子ども食堂の活動を支援

織りなす未来は、
もつとおもしろい

草津の未来を

市社協が発足して70年。その間に、社会は急速に進展し、私たちを取り巻く環境も大きく変わってきました。それでも紡がれた歴史の中には、先人たちの変わらない想いがあります。これらの想いを受け止め、これからも地域と共に歩んでいきます。

夢をかける あなたも周りも幸せな地域へ

私たちは、地域の皆さまと共に、人と人とのつながりを見つめ、さまざまな価値や意義、そして魅力を発信してきました。人と人の紡がれたつながりの上に、私たちは今立っています。

技術が進歩し、人と人が出会わなくても生活することができる社会へとなっていく中で、つながることの意義や意味が、今問われていると考えています。

先人たちが紡いできた想いを胸に、これからも地域の皆さまと共に、つながることの価値や意義を問い続け、その魅力を発信し続けていきます。



たくさんの縁を結び 福祉の心を広げていく

市社協はこれまで介護保険サービス事業所等を実施していない地域福祉一本の社協として歩んできました。

そのため、地域の皆さまをはじめ、福祉専門職や関係機関と連携し、協力し合うことで、高齢や障害、子どもといった分野を横断した取組も進めることができました。

しかし、近年では、少子高齢化やコロナ禍などさまざまな社会情勢が相まって、複合的な暮らしの問題を抱える世帯も増えてきました。

それに伴い、地域の課題も多種多様になってきています。

こうした地域の課題や暮らしの問題に真摯に向き合い、取り組み続けるために、地域の皆さまや福祉専門職等と紡いできた絆と、これから出会う絆を紡ぎ合わせながら、地域を多方面から支えることができる地域のプラットフォームとしての役割を発揮していきます。



みて “ミライ” ??

そしてバトンを繋いでいく

草津市では、1959年から発足した学区社協をはじめ、さまざまな地域の団体が地域福祉を盛り立てると共に、次の世代を育てることで、地域福祉のバトンが繋がれてきました。

2025年では、滋賀県下で2番目に多い6,246人というボランティアが草津市内で活動しておられます。

しかし、一方ではボランティアの高齢化等の課題も抱えています。

私たち市社協は、これまで皆さまと共に繋いできたバトンを未来へ届けるために、これから生きる若い世代に向けて、思いやりの心・ありがとうの良さを感じることができる心を育てることで、共に未来をつくっていきます。



夢と期待で
つくる光



草津市社会福祉協議会 歴代会長

設立年月日 昭和 30 年 4 月 1 日 法人認可 昭和 43 年 6 月 26 日

	会長氏名	就任期間	期間
1	黒川 広太郎	昭和 30. 4. 1 ~ 昭和 31. 3. 31	1 年
2	石田 豊吉	昭和 31. 4. 1 ~ 昭和 37. 3. 31	6 年
3	束田 繁三	昭和 37. 4. 1 ~ 昭和 40. 3. 31	3 年
4	山田 義次	昭和 40. 4. 1 ~ 昭和 47.12.12	7 年 8 力月
5	竹川 孫一郎	昭和 47.12.22 ~ 昭和 47.12.27	6 日
6	上田 啓三	昭和 48. 1.31 ~ 昭和 48. 7.25	6 力月
7	山田 武一	昭和 48. 7.26 ~ 昭和 57. 6.23	9 年
8	前田吉右衛門	昭和 57. 6.24 ~ 昭和 61. 5.10	3 年 11 力月
	田村 治男	昭和 61. 5.16 ~ 昭和 61. 6.24	会長代理 1 力月
9	井口 賢蔵	昭和 61. 6.25 ~ 平成 2. 5.22	5 年
10	山田 清	平成 2. 5.23 ~ 平成 5. 5. 31	3 年
11	本郷 光雄	平成 5. 6. 1 ~ 平成 6.11.13	1 年 5 力月
12	西田 和夫	平成 6.11.14 ~ 平成 12. 2. 3	6 年 3 力月
13	福井由左衛門	平成 12. 2. 4 ~ 平成 15. 5. 31	3 年 3 力月
14	石本 吉孝	平成 15. 6. 1 ~ 平成 17. 5. 31	2 年
15	田中 千秋	平成 17. 6. 1 ~ 平成 21. 5. 31	4 年
16	末下 信哉	平成 21. 6. 1 ~ 平成 23. 5. 31	2 年
17	清水 和廣	平成 23. 6. 1 ~ 現在に至る	



- 第1次草津市地域福祉活動計画
(平成21年～平成23年度)
- 第2次草津市地域福祉活動計画
(平成24年～平成28年度)
- 第3次草津市地域福祉活動計画
(平成29年～令和3年度)
- 第4次草津市地域福祉活動計画
(令和4年～令和8年度)

住民福祉活動計画（14学区社協作成）





編 集

社会福祉法人**草津市社会福祉協議会**

〒525-0032 草津市大路2丁目1番35号 キラリエ草津4階
Tel : 077-562-0084 Fax : 077-566-0377